香美市文芸

風の流れ

岡崎桜雲　選

◆一般投稿作品◆

友ありて幸せもらう春うらら　荒木　景子
文旦を受けてずっしり双手(もろて)の子　中村　定子
谷渡る風は何を話すのか　岡本　初美
南天は小鳥達には遠慮され　五百蔵利美
オルゴールの音は今寂しひなまつり　原　茂
稚児一人奉納の舞秋祭り　伊藤　清子
イタドリを料理と思ふ厨事(くりやごと)　利根　弘子
カーニバル曲はエンニオ・モリコーネ　明石　韮生
一陣の風に焦(こ)がれて夕桜　山﨑　貴子
老木も花咲き満ちて笑ってる　宮地　美代
名も知らぬ花も野に咲き春隣り　楮佐古なずな
菜の花やかごめ遊びの友遥(はる)か　坂元　道子
裸木やこの木なんの木気になる木　井上　佐和
初咲きの赤を極めて寒椿　東　月
春眠も関わりなしや高齢者　溝渕　龍泉
世話になった友に大根おすそ分け　吉川　恵樹
流し雛亡母(はは)の言葉は昇華して　小松　美鶴
マスク越し内緒話にならぬまま　秋山　英身
じじとばばおれさまだけだ武者人形　茂野　光正
人影の透かして見える野焼かな　原　恭子
細胞が喜ぶ波動冬日影　秋　星

◆かほく俳句会◆

砂遊びの雀二、三羽春立てり　乾　真紀子
鬼やらい父のお供で嬉しくて　岡本　敏子
物差しを提げて戸を繰る雪の朝　小松　昇
水温む思案中なる鷺一羽　佐竹　洋子
縁側に座布団並べ日向ぼこ　杉山　春萌
鳩のこゑのどかに春となりにけり　津田吾燈人
一景に梅一輪と消防車　野村　里史
其処ここに日差し集めてふきのたう　古川　信子
血圧も良し春の畑踏みしめる　前田　智
未完の句に逃ぐる二月に追ひつかず　宮崎ただし
春遅遅と遅遅と杉山青みける　宗石　愛喜
下萠をはやす水音となりにけり　森本　之子
ゆかしき香放てる梅の六分咲き　山崎かずみ
野火蜂起元親公の近づけり　山﨑　鈴子
年の暮二人介護の始まりぬ　山中　明石

今月のキラリ

広報委員会

イタドリを料理と思ふ厨事

昔から、イタドリはおひたし、和え物、油炒め、穂先の天ぷら。塩漬けにして保存し、煮物等にしていました。しかし最近では、多くの県で食べられるようになり、イタドリの調理方法や食べ方も多岐にわたり、台所で料理としてこしらえる物になったと、心に深く感じ一句に仕立てあげて詠んだ作者。昔を懐かしむ思いも見え隠れする一句。（季語：虎杖(いたどり)（春））

人影の透かして見える野焼かな

野焼きは、早春の晴れた穏やかな日に、土地を肥やし、害虫を駆除するため、野や土手などを焼き払うこと。焼畑農法の一種でもある。作者は野焼きを見に行ったのでしょうか、野焼きの煙りがモウモウとあがり視界不良状態で、野焼きを行っている人を透かし眺めると、人影のように見えたと詠っている。煙りの匂いと、やわらかな太陽の光りを思い浮かべる事ができる一句。（季語：野焼（春））

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所記載不要）FAX 53・5958

第20回吉井勇顕彰短歌大会

吉井勇の功績を顕彰する短歌大会に、全国各地から一般100名195首、学生15校359人・359首の投稿がありました。ここに入賞した方々の作品とお名前を掲載します。

【受賞作品　一般の部】

吉井勇大賞　共に植ゑし者ら世を去り桧の山に五十年生の成木見上ぐ　山口県宇部市　藤井　重行
吉井勇賞　Gパンの女菊師が出し抜けに光源氏の御身抱き来る　福島県福島市　今野　金哉
井上佳香賞　人けなき山の温泉にひたるとき垣のあはひに合歓の花見ゆ　茨城県鹿嶋市　大熊佳世子
依光ゆかり賞　降りしきる雪を飲みこむ海を分け白波たてて漁り船出づ　大分県別府市　佐藤　信二
佳作　草踏めば草にもつれるわが身なりかすてら色の夕陽をうけて　山口県岩国市　二宮　信子
　箱二つ重ね歯となす獅子舞(ししまい)を手に出番待つ介護士さんは　高知県香美市　古川　安子
　重力に支配されない新人と五月へ続く階段のぼる　愛媛県西条市　丹　佳子

【受賞作品　中高生の部】

吉井勇大賞　相談(そうだん)しひとつひとつが腑(ふ)に落(お)ちて父(ちち)の言葉(ことば)に今日(きょう)も生(い)きてく　長野県松商学園高校二年　武井　愛来
吉井勇賞　隠さずにひとえに君と話したいまだずれているブランコの音　長野県松商学園高校二年　林　優大
井上佳香賞　よっこらしょ立ち上がるときに出るこの声はじいちゃん譲りの仕事の印　高知県安田中学校二年　北川　舜大
依光ゆかり賞　帰り道自転車から見る安曇野は稲刈終わり紅葉の時期へ　長野県松商学園高校二年　髙橋　香凛
佳作　暑さ増し送られてきた枇杷の実が着ていた服を今年も汚す　高知県安田中学校二年　安岡穂乃夏
　冬の朝マスク着用眼鏡がくもる早く終われよ未知のウイルス　高知県香北中学校一年　黒岩　想乃
　冬空に快音響かす朝練の友のバットは鋭さを増す　長野県松商学園高校二年　宮田慎之助

【受賞作品　小学生の部】

吉井勇大賞　ねむってたオキゴンドウが目を覚ましあくびをしたのか大波が来る　山口県光井小学校六年　横道　玄
吉井勇賞　合宿のドラム缶ぶろ気持ちいいゆうやと二人せなかとせなか　高知県片地小学校五年　島﨑　嵩翔
井上佳香賞　夏の夜弟と花火楽しいな花火キラキラおれもキラキラ　高知県山田小学校五年　大峯　健悟
依光ゆかり賞　秋晴れの猪野々を見ては栗を取る毬が痛くてお菓子をつまむ　高知県大宮小学校五年　泉　迅翔
佳作　もみじの葉水面(みなも)の上に散り流れ秋のもみじは炎みたいだ　高知県山田小学校五年　長吉　悠晃
　目立(めだ)たないハクセキレイの美(び)の姿(すがた)かわいい声(こえ)は少(すこ)し悲(かな)しく　高知県山田小学校五年　小松　芽生
　ひまわりが客をよぶほどさきみだれ黄色の光明日への希望　高知県大宮小学校四年　福留　遥希